



かみとんだ 議会だより

第164号

2018.12

平成29年度の決算は一般会計と特別会計あわせて、歳出総額118億5911万3千円
決算審査特別委員会を設置し審査を行うことになりました。



**12月議会では、初めての取組としまして
一般質問を日曜日に開会する予定です。**
是非傍聴に来てください。

9月議会で8議員が一般質問を行いました。

- 正垣 耕平 議員：☆「スポーツの町かみとんだ」のこれから
家根谷美智子議員：☆不妊治療費助成事業について ☆中学校のトイレ問題について
☆ヘルプマークについて
山本 哲也 議員：☆大雨による浸水対策について ☆祭等を通じた地域づくり、コミュニティづくりにつ
いて ☆交流人口、関係人口と宿泊施設の課題解決について
九鬼 裕見子 議員：☆災害時にいきる防災対策について
田上 明人 議員：☆災害の復旧状況について ☆県防災工事について
中井 照恵 議員：☆予防接種の取り組みについて ☆保育支援の充実について
吉本 和広 議員：☆子どもたちの健やかな成長のために ☆自立支援医療について
☆町の障害者雇用について
松井 孝恵 議員：☆町政報告会と町内会要望について ☆台風被害について
☆自衛隊との連携について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763

TEL(0739)33-7445 FAX(0739)47-5959

「議会だより」は上富田町のホームページにも掲載しています。また、上富田町のホームページから、いつでもインターネット上で議会の様子を録画映像でご覧いただけます。

正垣 耕平 議員

(質問方式 一問一答方式)

「スポーツの町かみとんだ」のこれから



1. 上富田スポーツセンターについて

【質問】町民の健康づくりや幼児く小中高生までの体力向上に大切な役割を果たしている当施設。来年には「食育交流センター」がスタートしさらに多様な利用が見込まれる中、管理者として今後どのような場所にしていく予定か？平成7年にスタートを切り、国体も経験した施設として、次の

時代へ向けたビジョンを聞きたい。

【町長】次の時代へ向けて、スポーツ観光、健康をテーマとして、そしてスポーツをするしないに関わらず誰でも気軽に集える場所、地域住民がわくわくする場所、地域社会にとって付加価値のある場所を目指し、官民が一体となりまちづくりを進めていくよう取り組みます。

さらに、閑散期の利用なども含め様々な利用法を検討し、スポーツセンターを地域住民が集う憩いのスペースにしていきたいと考えております。

【質問】立地上、防災の拠点としての利用も十分に考えられると思うがその点はどのような認識か。

【生涯学習課長】高台にあり防災の拠点として十分に利用できることから、災害が発生した場合には野球場、球技場、多目的広場駐車場を災害時におけるヘリポート予定地として、ドクターヘリによる救急搬送や、防災ヘリによる救援物資等の拠点として利用すること、また大規模災害発生

時は、自衛隊派遣要請により拠点基地として利用することとなっているか。

【質問】公衆無線LAN(MiFi)の設置についてはどのように考えているか。

【生涯学習課長】当施設には多くの利用者が訪れており、また、ラグビーワールドカップ公認キャンプやねりんピックなどの大きなイベントも控え、マスクミ対応や一般利用者への利便性向上などの観点から、MiFi環境の整備は非常に重要であると認識している。十分に検討を重ねた上で対応していきたい。

2. 子どものスポーツ環境を町はどう支えていくか

【質問】クラブ活動の形態が変化をしていく中、放課後や休日に町施設を利用し、様々なスポーツにチャレンジしている子ども達やその指導・補助にあたってられている方が多くおられる。活動の中で直面する問題や要望、あるいは行政と民間ボランテア、どちらか

一方だけでは解決しがたい問題が生じた場合に備え、日頃から互いに意見を交わす機会が必要と考えるが、現状はどうか。

【生涯学習課長】意見交換などは非常に重要であると考えておりますので、今後町、体育協会、くちくまのクラブを中心に、積極的に意見交換、交流の場を設けたいと考えています。

【質問】誰もが気軽に訪れる事ができ、試合観戦、景色や空気感を楽しむ場である事も重要だと考える中公共交通インフラとして改善の考えはないか。

【町長】コミュニティバスについて来年4月にダイヤ改正を行う予定だが、今のところ休日に運行する予定はない。みんなが集う場として町のランドマークとなり、バスのニーズが増加する場合には今後、検討していきたい。

3. 2019ラグビーW杯 ナミビア代表キャンプイン決定。どう「町おこし」につなげていくか

【質問】県は先月23日、2019ラグビーW杯アフリカのナミビア共和国代表チームの公認キャンプ地に内定していた上富田町と県が、W杯の組織委員会と正式にキャンプ地契約を結んだと発表された。

約一年後に開催されるW杯に向け、町として初めて海外の国代表チームを迎える事になるが、いかに捉えているか。

【生涯学習課長】公認キャンプ地として選ばれた自治体のうち、町で選ばれたのは上富田町のみとなっており、キャンプの受け入れ期間につきましては、来年9月14日から20日までの7日間と予定されており、今後視察を経て正式な受け入れ期間も決定することになります。キャンプの日に合わせ、和歌山県と上富田町の共催によるウエルカムセレモニーを開催することが決定し、このセレモニーは、地域の皆様のご協力のもと盛大にお迎えできるよう、日本らしいおもてなし方法を今後検討していきたい。

【質問】「町おこし」の

観点から考えると、ラグビー交流はもちろん、町を知ってもらう事、町民やラグビーファンとの交流、またこの機会に、「口熊野かみとんだ」を県内外、世界にもアピールできるまたと無いチャンスと考えるが、どのように一年間準備をしていくか。

【町長】全国で唯一、「町」という形で公認キャンプ地として選ばれたことにより、徐々にですが話題の町となっております。今後ナミビア代表とコンタクトをとれ次第、町のPR、またそして子供たちとの交流、住民の参画、おもてなしも含めイベントなどを検討していきたい。



議員 美智子 根谷家

(質問方式 分割方式)

- 1.不妊治療費助成事業について
- 2.中学校のトイレ問題について
- 3.ヘルプマークについて



1. 不妊治療費助成事業について

【質問】ここ数年、耳にするようになった「妊活」というのがあります。この「妊活」の一環として不妊治療を受けて子供を願うご夫婦がおられます。私もこの不妊治療に通っていました。初期の頃に受ける一般不妊治療と言われるもので、保険適用範囲で行われているものがほとんどですが、

この治療は様子を見ながら継続するため、通院にかかる時間や費用など、時間的、経済的負担は大きくなります。これよりさらに先の治療に進みま

すと、体外受精、顕微授精などになり、こちらは特定不妊治療に当たり、自由診療、いわゆる保険適用外の治療になります。この特定不妊治療の指定医療機関はこの辺りにはなく、和歌山市に3軒、橋本市に1軒しかないため、治療を受けるには丸一日仕事を休み、交通費をかけて紀北まで行かなければなりません。子供が欲しいと切に願う方々の時間的、金銭的負担を思うと、少しでも改善できればと感じております。

厚生労働省が平成16年度より高度な治療費用の一部を助成する「不妊に悩む方への特定治療支援事業」を実施しています。また、増え続ける患者や少子化対策により、平成28年度より範囲等の拡充がされています。一般不妊治療と特定不妊治療を受けられる町民に対しての助成金は、それぞれいくらになっていますか。

近隣市町でも同じ助成事業に取り組んでいるが、助成金額にばらつきがあります。この助成金額は、どのような根拠で定められたのでしょうか。

【住民生活課企画員】特定不妊治療助成事業ですが、助成額は1組の夫婦について1回の治療に対して総治療費から国・県助成額と本人負担3割相当額を引いた残金のうち3万円を限度とし、助成回数については、治療開始年齢等により異なりますが、最大6回の助成が受けられます。また、近隣市町の状況や町の助成等を勘案し3万円と決定いたしました。

【質問】現在、近隣では上限5万円の上乗せ助成と聞いております。足並みを揃える事は考えられませんか。

【町長】来年度からの中学校までの医療費の無料化や、小中学校への空調設備などの事業も予定しており、財政的に厳しいと考えております。

2. 中学校のトイレ問題について

【質問】昭和40年8月に竣工し、16学級649名

の新たな学びやとしてスタートした上富田中学校校舎も今年で55年になります。昭和41年プールと体育館、昭和58年には増築校舎も完成しており、平成24年と25年にかけて校舎と体育館の耐震化整備事業による大規模改修も完了しています。学校耐震化事業に取り組みされました事は先ず子供達の安全を第一に考えての事で私も優先すべき事案だと思います。しかし上富田中学校のトイレの洋式化については、長い間手つかずのままになっています。

文部科学省が発表した平成28年4月現在の洋便器率データによりますと、公立小中学校施設のトイレの整備では、和歌山県はワースト5位、また、県内で上富田町はワースト4位でした。全国平均での洋便器率は43.3%、上富田町は半分の21.2%です。

選択肢の上でも、和式の良い所もあるので全くの廃止は望みませんが、学校で和式トイレをしたくないという子供達の声も聞きます。文部科学省の調査結果に鑑み、町としてこのト

イレ問題をどのように捉えていますか。

【教育委員会総務課長】上富田町では命を守ることを第一に、安全で安心して学校生活が過ごせるよう、学校施設の耐震化を重要視し、整備を進め、耐震化率が100%になっています。ただ本町は、空調設置率、洋便器設置率など、県下でも低い位置にあり、どうかしたいところではあります。

空調設置につきましても、9月議会に設計管理費を予算計上させていただき、各校への空調設置に向けて進めているところで、投資的事業における計画ではプールの改修もあります。学校トイレの改修についてもすぐにも実施したい事業の一つと考えています。ただ、トイレ改修については、和便器を洋便器への交換だけではなく、トイレ室そのものを改修し、きれいなトイレにしていきたいと第一に考えております。

教育委員会では、空調施設が終了しましたら、投資的事業計画に各校のトイレ改修を上位に位置づけることとしてまいります。

3. ヘルプマークについて

【質問】ヘルプマークは、内部障がいや難病の患者、義足や人工関節を使用している人たち、または、知的障がいや発達障がいの人たちなど、援助や配慮を必要としている事が外見ではわからない人々が、周りに配慮を必要なる事を知らせることで援助を得やすくするよう、2011年に作成されたマークです。

2018年時点で、和歌山県は早い段階から導入を始めています。しかしながら、なかなかこのヘルプマークが皆さんに浸透されていません。上富田町民憲章には、人権を尊重し、助けあつて平和な福祉の町づくりをしますとあります。小中学校のうちから啓蒙活動に取り組むことは出来ませんかでしょうか。また、広報での周知など、町としての取り組みを考えられませんか。

【住民生活課企画員】上富田町としては、町広報への掲載準備も整えています。

【教育委員会総務課長】学校におきましても認識を深めるようにしていきたいと思っております。

山本 哲也 議員

(質問方式 一問一答方式)

- 1.大雨による浸水対策について
- 2.祭等を通じた地域づくり、コミュニティづくりについて
- 3.交流人口、関係人口と宿泊施設の課題解決について



1. 大雨による浸水対策について

【質問】台風20号、台風21号において、残念ながら当町でも被害がありました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

台風20号では浸水被害も多数出ました。大きな原因として、本流である富田川の流下能力が低下

しているためと考えられます。

町としては、各町内の支流も含めて県に対し迅速に整備していただくよう強く働きかけてもらいたいと思います。また、早急な浸水被害対策が必要であると考えますが、当局の見解は。

【産業建設課企画員】当町におきましては、二級河川富田川が中央を流れており、以前より台風等による土砂の流出のため河床が高くなってきております。

富田川に流れ込んでおります支流につきましては、県管理の部分があり、毎年支流の浚渫（しゅんせつ）について県に要望し、県におきましても少しずつではあります。が、支流の浚渫をしていただいているところです。

しかし、今回の台風20号の浸水被害等の発生している中、県に対し早急な対応を要望してまいりたいと考えています。



2. 祭等を通じた地域づくり、コミュニティづくりについて

【質問】上富田町の伝統文化、主に秋に行われる祭りといえば、みこし、獅子舞、お芝居などいろいろありますが、近年、少子化の影響だけではなく、地域コミュニティへの参加意識の希薄さから、祭りへの参加人数が減ってきています。

祭りは、故郷を思う、地域を支えることにダイレクトにつながると考えます。伝統を守り、未来へ受け継いでいくために、後継者の育成が今後求められます。未来ある子供たちにも地域の伝

統文化である祭りへの参加意識を高めていくような取り組みについて、当局としての考えはあるのか。

例えば、祭り前後日などを学校行事の振りかえ休日に充てるなど、環境整備をすることは今でも可能ではないか。

【町長】次世代を担う子供たちの愛郷心を育むため、平成27年10月に上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、伝統文化、芸能の継承活動を進めると定めております。

具体的には、町内にある無形文化財、獅子舞やみこしについて、関連用具を整備するとともに、若い世代に、特に子供たちへの承継を進めるため、現在では町内の小学校においてクラブ活動に取り入れるなど、伝統文化に触れる機会が広がっております。現在では、学校行事の振りかえ休日を祭りに直接充てることはできませんが、学

校による可能な限り柔軟な対応をしているところ

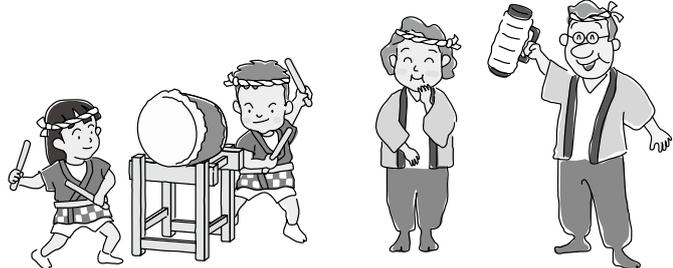
です。また、伝統文化等の継承には、地域の方々による子供たちへの指導が不可欠であり、地域の指導者、私もずっと中学生、高校生のときから獅子舞のほうを、また、みこしのほうもやってきている関係上、指導者としても、子供たち、そして地域の方々との交流を深めるには指導者が絶対不可欠だと考えております。

私自身はこういう伝統文化を地域の代表として、子供たちに継承するということは今後またやっていきたいなと思っておりますので、ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。



3. 交流人口、関係人口と宿泊施設の課題解決について

は、恐れ入りますが町のホームページ等をご覧ください。



九鬼 裕見子 議員

(質問方式 一問一答方式)

1. 災害時にいきる防災対策について



1. 災害時にいきる 防災対策について

毎年のように地震、豪雨、土砂災害など相次ぐ中、地球温暖化の影響を知り、先手先手で対策をとっていかないと大変なことになる。災害大国日本では絶対安全という地域はない、と防災研究者たちが発信している。

◆台風20号と21号の住民への周知について

【質問】今回、避難準備

や避難勧告が出され、台風20号では、放送があまり聞こえなかったという方もおられたが、台風21号では、町内放送だけでなく、各地域を消防団が避難勧告の呼びかけをされたが、こういった配慮からか。

【総務政策課企画員】台風20号の接近に伴い、暴風警報が発令されたのち、順次、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告を発令。21号は20号による被害が復旧する間もなく、猛烈な勢力を維持したまま同じ進路が予測されたため、前日に注意喚起を行い、翌日避難準備、避難勧告を発令。地域の低地な場所を重点的に、安全な場所への避難を促すため消防車で放送を行った。

◆避難所について

【質問】防災マップの避難所指定と、今回の拠点避難所の開設の違いはどうなっているか。また、災害に応じて、住民の方が安心して避難できる避難場所の指定に見直していくことが必要ではないか。

【総務政策課企画員】7月の広報に折り込みチラシ

シで、台風等大雨時の避難所として対応できる施設として8か所設定、避難準備の発令時に開設することを周知している。今後、土砂災害警戒区域等県の新たに指定されるのでそれに応じて避難所の見直しを検討して行きたい。

◆台風20号と21号の災害状況について

【質問】避難者の状況はどうか。

【総務政策課企画員】全避難所での避難者数は、台風20号で36名、21号では111名となっていた。

【質問】潜水橋への流木や、富田川河川に樹木が生い茂っている場所があり、流れをせき止め、氾濫を招くのではないかと危惧する。

治水対策として富田川の流木対策や、小河川の浚渫について、県の予算が足りないということなどで、なかなか工事が進まないが、国土強靱化の立場からも、行政として県や国に大幅な予算の増額を求める必要があるのではないか。

【町長】県に対して毎年状況を説明し、早急な対

策を要望しているが、県管理の多くの河川があり、様々な復旧作業に取り組んでくれている。今後、県町村会や全国町村会を通じて、県や国に対して強く要望していきたいと考えている。

◆災害が起きたとき、生活を支えるライフラインの復旧について

【質問】大災害の時に、一番に困るのは水の確保とトイレである。避難所開設では、避難所に仮設トイレが設置されるが、すぐの対応にはならない中、行政の対応と住民自らの備えを、平時の時から考えておくことが必要だと考えるがどうか。

【上下水道課長】災害の事前対策として耐震化を図っており、水の確保について緊急時には大山配水池に約6000トンの水の確保に努めている。さらに県内の水道事業者の間で応急配水、応急復旧の協力体制を図っている。

住民のみなさんには、一人一日3リットルの水の3日間程度の備蓄と、大災害で配管が壊れ、トイレが使用できるまで長期化が予想されるため、

簡易トイレ等の備えをい

ただればと考える。

◆自主防災組織と地域コミュニティについて

【質問】ハザードマップの配布で啓発活動になっていると考えるか。

今、住民のみなさんと、共通の知識を持つていくことが、減災、縮災につながるのではないか、そのために自主防災組織や地域のコミュニティづくりが大切ではないか。

熊本県あさぎり町の自主防災組織の体制強化の取り組みは、住民に解りやすい資料になっている。

あさぎり町の資料を参考に、自主防災組織を充実したものにしていくために、行政としての働きかけを計画し取り組んでいけないか。

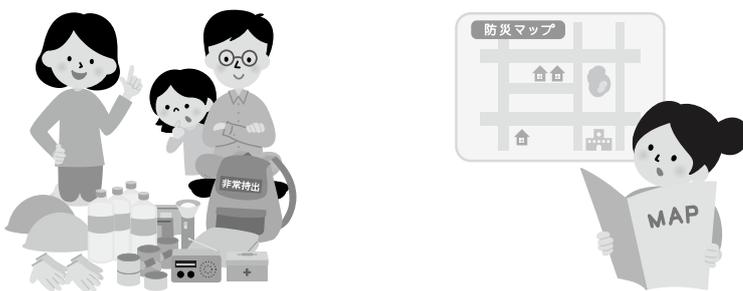
【総務政策課企画員】各種ハザードマップの配布だけで啓発になっているとは考えにくく、機会あるごとに周知し啓発することが必要である。

また、高齢者については、早期の避難が重要となり、町として町内会や自主防災組織を支援していくことが大切であると

考える。

あさぎり町が作成した自主防災組織の体制強化の資料は、非常に解りやすく参考になる。

町として自主防災組織の体制強化につながる取り組みを検討していく。



田上 明人 議員

(質問方式 分割方式)

1. 災害復旧状況について
2. 県防災工事について



1. 災害復旧状況について

【質問】7月豪雨、大阪北部地震、台風20号・21号、北海道地震と立て続けに災害が起こり、お亡くなりの方々、被災された方々に心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

災害復旧状況についてお伺いします。この災害は、市ノ瀬汗川地区において、平成23年9月上旬大

中クリーンセンターより約900m上流で発生した汗川南向け斜面の山腹崩壊による県管理河川汗川に土砂ダムができた災害です。

7年が経過し、復旧作業がまだに完成しておりません。

そこで、質問いたします。

①山腹復旧状況について、この7年間の経過とこれからの計画をお伺いしたい。

②当該地には町道が走っており、現在仮道で対処されています。いつ本道に復旧されるのか。

③当災害による、汗川下流域の河床高についてですが、下流には汗川水利組合が管理している取水堰が4箇所あります。当災害以降、大雨のたびに堆積した土砂が取水口や用水路に溢れ、取り除くのに多くの労力とコストが費やされています。台風20号では、取水堰付近の水位が今までになく高くなり、排水路が本流の流れにせき止められ、畑が水没しました。これも河床が高くなり、危険な状態でありもつとひどい災害が起こらなければと危惧しています。是非

汗川の堆積土砂の浚渫(しゅんせつ)を県に働きかけていただきたい。

【町長】この汗川地区の災害につきまして、平成23年9月の紀南地方に大きな災害をもたらした台風12号における豪雨で山腹が大きく崩壊して汗川をせき止めました。台風が非常に強く大型で動きが非常に遅かったため、長時間にわたり大雨となり紀伊半島では、総降雨量が1000mmを超えました。記録的な大雨となった紀南地方の各地では甚大な被害をもたらしました。

この汗川の山腹被害につきましても、県におきまして、県の治山工事として復旧をいただいている状況であります。

【産業建設課企画員】①県の治山工事として、平成24年度既設谷止工撤去及びコンクリート殻等の処理、同じく谷止工1基設置、平成24年度補正土留工1基、水路工L174.8mを施工、平成26年度補正山腹抗力化、今後としまして、町道汗川1号線崩土撤去、町道横断排水路谷止工から流路工を施工していくこととなります。

②現状におきましては町道における復旧はまだできておりません。今後早急に崩土撤去、町道横断排水路谷止工から流路工施工をしていきたいと思っております。

③県管理河川汗川の河床高につきましては近年では台風等による異常な集中豪雨が発生する中で、汗川への土砂の流出が見られ、平時におきましても河床が高くなってきております。このような状況におきまして、治水の保全や災害防止の面からも計画的な堆積土砂の撤去が重要となっております。汗川につきましては数年前に1度土砂の浚渫を実施していただいておりますが、毎年襲来する台風により、土砂が流出し、堆積している状況となっております。今回の台風20号、21号でまた一段と堆積してきたと思われまします。この状況を県に確認していただき、早急な浚渫等の対応をしていただくよう要望してまいります。

2. 県防災工事について

【質問】市ノ瀬清水川の砂防堰堤工事完了後に北

向き斜面が動き出し、その対策工事は完了したのですが、その後の調査で広い範囲での地滑り対策が必要と判明。現在は測量調査設計も終了し、平成28年12月には所有者との境界立ち会いも終了しています。その後工事等の進展が無いように思われます。地元住民はいづれ地滑り工事が完成するの心配をしております。

そこで質問します。

市ノ瀬清水地区の地滑り対策工事について工事の概要と、これからの工事計画をお伺いします。

【町長】この清水川の地滑りにつきましては、平成23年に兆候が確認され、その後地滑り防止区域の指定を受けて、県におきまして現在対策をいただいております。

【産業建設課企画員】平成24年から現地調査を行い、県関係部局と協議を進め、平成26年度に地滑り防止区域の指定に係る調査が行われ、平成27年度に地滑り防止区域に指定されました。また同年から地滑り対策事業に着手し、区域の調査観測、ボーリング、水位、伸縮計、傾斜計などの地滑りデータから地域の水



抜き設計を行っております。平成30年度以降におきまして、抑制工としまして1号集水口は、井戸直径3500mm、深さ14.5mm、集水ボーリング工径40mm、40×50mの13本という形になります。2号集水口は、井戸直径3500mm、深さ30m、集水ボーリング工径40mm、30×50mの12本となります。今後につきましては、抑制工実施後、観測を続け、効果を確認しつつ、必要があれば次の対策を実施することとなります。

【質問】今の説明では立坑を掘って、それに横穴を何本も抜いて水を落ち着かせるといふことですね。それでよろしいでしょうか。

【産業建設課企画員】その通りでございます。

中井 照恵 議員

(質問方式 分割方式)

1. 予防接種の取り組みについて
2. 保育支援の充実について



1. 予防接種の取り組みについて

【質問】 当町では、子どもが任意で受ける予防接種の助成金制度を設けていないが、おたふく風邪の合併症であるムンプス難聴は、発症後の治療が大変困難であるため、町としても、ワクチン接種への助成金を設けるべきではないか。



【町長】 おたふく風邪ワクチンの助成は、近隣では田辺市のみです。来年度からの医療費の無料化や、小中学校への空調設備の設置等もあり、財政面は厳しいが今後は近隣市町の動向を見ながら考えていきたい。

【住民生活課企画員】 1993年に中止されたおたふく風邪ワクチンの定期摂取は、平成25年に厚生労働省で、再度検討されているものの、まだ実現には至っていない。

【質問】 田辺市では、昨年度695人の子どもたちが、助成金を利用してワクチン接種を受けているが、当町でも助成があればワクチンを接種したいという方が多いのでは。

【町長】 おたふく風邪ワクチンの助成は、近隣では田辺市のみです。来年度からの医療費の無料化や、小中学校への空調設備の設置等もあり、財政面は厳しいが今後は近隣市町の動向を見ながら考えていきたい。

2. 保育支援の充実について

【質問】 来年10月から全ての3〜5歳児と住民税非課税世帯の0〜2歳児の子どもたちの、保育と幼児教育が無償化になる予定だが、対象は町内で何人位か。事務作業などスムーズにいくのか。

【住民生活課企画員】 新たな制度が実施されると195名が新規で無償化の対象になる見込で、事前に保護者様に連絡する予定である。新たな無償化で、財源は交付税措置となる予定だが、現時点で詳細は不透明である。

【質問】 女性の社会進出の増加に伴い、3歳未満からの保育所入所希望者が増えてきているのではないか。

【住民生活課企画員】 平成30年度では、3歳未満児の入所は124名で、過去5年間、大きく人数は変わっておらず、出生率や出生者数も、ほぼ横ばい状況である。

【質問】 公立や認可保育園で対応できず、事業所内保育施設を利用されている子どもさんにも※紀州っ子いっぱいサポートの恩恵を受けられるようにしたい。

【住民生活課企画員】 今までの対策としては特に拡充していないが、今後財政面を考慮し、支援の幅を広げていきたい。



【質問】 極端に子どもが増えていないにせよ、現在の保育施設を充実させたり、実際に地域の保育の受け皿となっている。事業所内保育施設を利用する子どもたちにも、漏れなく紀州っ子いっぱい

サポートの恩恵を受けられるように取り組むことが、保育支援の拡充につながるかと考えるがどうか。

【住民生活課企画員】 現子ども子育て支援計画は平成31年までで、32年度から新しい計画ということになっている。保育環境の整備は、この計画において保育の需要を調査し、把握を行った上で町の財政的な問題も考慮し、今ある施設で対応可能であるか、民間を利用したものも有用なのか、さらには、新しい施設の整備が必要なのかを考えていきたい。



※紀州っ子いっぱい

サポート事業

二人以上の子どもを育てている家庭の負担を軽減するため、保育料助成を和歌山県が市町村とともに実施するもので支給要件が定められている。

上富田町の保育料助成(保育料の無償化)については、①〜③の要件を満たす方が対象となる。

① 町内に住民登録をしている ② 二人以上の子どもを育てている世帯 ③ 保育所・認定こども園・幼稚園(満3歳以降が対象)・児童発達支援センター等を利用している就学前の第2子以降の児童*ただし、第2子については所得制限あり

③の対象施設については、県内の市町村間で取扱いが分かれ、現在上富田町及び周辺市町では事業所内保育施設等の「認可外保育施設」は対象外としている。

吉本 和広 議員

(質問方式 一問一答方式)

- 1.子どもたちの健やかな成長のために
- 2.自立支援医療について
- 3.町の障害者雇用について



1. 子どもたちの健やかな成長のために

①子供の貧困対策について

【質問】6人に1人の子どもが貧困であることから、国は子どもの貧困対策法をつくりました。「子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を

実現する施策を実施する」としています。貧困対策法に基づいた「調査・計画」「子どもの教育に関する支援」「生活に関する相談」などについて質問します。

上富田町でも貧困対策についての施策を策定していますか。

【住民生活企画員】和歌山県が今年度調査を実施中です。また、3月には子ども貧困対策推進計画を策定します。町は策定していませんが、今後貧困対策には何らかの対策をとっていかなくてはならないと考えています。

【質問】塾に行けない子どもたちのため、すさみ町では、小学生、中学3年生に対して放課後など、退職した教員を4名雇用して、無料で学習支援を行っています。全国各地で無料塾がおこなわれています。上富田町では何かされていますか。

【教育委員会総務課長】は何かされていますか。中学校では週一日7限目に地域学習ボランティア2名以上と教員で構成されています。元教員8名が参加してくれており、保護者にも呼びかけられています。小学校でも教科、クラブ活動等で学習ボランティアの支援も受けている学校もあり、システム化できればと考えています。

【質問】教職員だけでカバーできないので、予算を作り雇用することも含め、学校以外の力をかりて支援をさらに進めてください。

湯浅町では、訪問型相談事業を実施し、0歳から15歳までの子どもを持つ家庭に「保護者向け広報誌」を持って年3回全戸を訪問し「困っていることがないか」を聞き、信頼を得ながら相談活動をしていきます。また、必要な情報を提供しています。上富田にも必要と考

【教育委員会総務課長】えませんがいかがですか。

【教育委員会総務課長】地域の子育て関係者や関係機関とネットワークを駆使して人と人がつながる家庭教育支援活動の構築を行うことが大切だと思います。

②ひとり親家庭の住宅支援

【質問】ひとり親家庭では、町営住宅に入れない方もいます。そのような方にも住宅補助を出すべきだと思いが。

【町長】助成することは考えていない。

2. 自立支援医療について

【質問】精神疾患の多くの方が年金収入を合わせた収入が9万円以下で苦しい生活をしている状況です。みなべ町、田辺市、白浜町では一割の自己負担分を市、町がだして、窓口で医療費を払わなくてよい現物支給とし、無料にしています。上富田町も5パーセントの自己負担をなくすべきだと思います。

【住民生活課長】県下で5%助成しているのが4市町、一割負担しているのが8市町です。4月から子ども医療費も無料になる予定なので福祉医療の扶助費が膨らんでいきます。町財政に大きな負担となり大変厳しい状況にあり、無料化については難しい状況です。

3. 障害者雇用について

【質問】中央省庁・和歌山県で障害者雇用の水増しが行われていたことが明らかになりました。私は支援学校で進路指導をしてきました。本当に腹

が立ちます。上富田町ではそのようなことはありませんか。

【教育委員会総務課長】職員123名が在籍しており法定雇用率2.5パーセントを掛けると3、075人となり、3名と異なります。重度身体障害者に該当する方は1名で2名としてカウントしますので、その方ともう1名で3名となり達成しています。また、障害者手帳で確認しています。



松井 孝恵 議員

(質問方式 一問一答方式)

1. 町政報告会と町内会要望について
2. 台風被害について
3. 自衛隊との連携について



3. 自衛隊との連携について

【質問】 去る8月26日、陸上自衛隊最大規模の実弾演習、富士総合火力演習を視察しました。防衛大臣、陸上幕僚長ご臨席のもと、仮想敵国の島嶼部に対する攻撃に対して陸海空三自衛隊による防衛作戦で敵を制圧、奪還するという演習です。人

員約2,400名、兵器・

火砲・戦車・航空機など約一千台近い車両が集結していました。百聞は一

見にしかずです。非常に頼もしいと思いつつ、当

然相手国も同様の武装をして

しているわけであり、24時間、365日、日本を守ってくださって

いる隊員の皆様に感謝の意をさらに強く持ったわけ

です。そこで私達の住む上富田町、水害・洪水

もさることながら巨大地震

震がくる確率が非常に高いと言われています。海

に面していないことから津波の確率は低いと聞いて

いますが、以前からスポーツセンターの付近が

災害時の拠点になるときいており、こういった災害に対してどういった拠

点になると想定されていますか。後方支援基地に

なる可能性があると聞いていますが、自衛隊がこ

こに来る可能性も想定内ですか。どこまでの施設をどの程度使用してよいか話についていますか。

【総務政策課企画員】 大

地震や大規模な水害や土砂災害が発生した場合を

想定しています。スポーツセンターに拠点を構える

ことは想定しており、自衛隊に確認しますと、

野球場周辺の芝生部分に指揮本部やテントを配置

して、人命救助をする第一線部隊の活動拠点として

使用する想定になっており、自衛隊も訓練をさ

れています。【質問】 以前、炊飯車両

など見学させていただきました。毎年の防災訓練

では、装甲車両の展示や、いざという時のロープの

使い方なども教えていただいています。今、自衛

隊とどんな連携や交流を図っておられるか、そし

て、その時の役場側の窓口はどこで責任者はどなたですか。

自衛隊の方が、「若い隊員たちが命を懸けて日

本国を守っている。そのことについて見返りは求めないが、国民の皆さんの応援こそが心のささえ

です」と言っておられま

した。災害があるから自衛隊というのでなく、日

頃から交流もし理解を深めておくことが必要と考

えます。【総務政策課企画員】 自

衛隊自身もスポーツセンターを使用して災害拠点

本部をつくる訓練や野営訓練や歩行訓練も行っ

ています。また、隊員の募集についての協力依頼が

あり、チラシの掲示や広報掲載等で協力していま

す。役場の窓口は総務政策課で、責任者は町長で

す。【質問】 巨大地震が起き

て我が町が拠点の一つになった場合を想定して、

周辺市町村との話し合いはどのようになっていますか。

【総務政策課企画員】 紀南の十市町村で災害時相

互応援に関する協定を締結しており、応援の内容

については、食料、飲料水及び生活必需物資並びにその供給に必要な資機材の提供、被災者の救出

医療、防疫及び施設の応

急復旧に必要な資機材の提供、救援及び救助活動

に必要な車両等の提供、救助及び応急復旧に必要な

職員の派遣等となっております。

【質問】 隊員さんにお聞きしたところ、彼らの階

級というのは絶対だそう

です。それがないと戦力として戦えないし、災害

の時もそうだ、ということ

です。でも役場の組織とか階級というのは、絶

対とまでは言い切れないのではないかと。町外にお

住いの職員さんもたくさんおられるし、身内の方が

災害に遭う場合もあると思います。そういう時に備えて、役場でも指揮

命令系統は整備されていると思うが、上司あるいは課長級とか、来られない場合の訓練はされていますか。

【総務政策課企画員】 訓練はしていませんが、上司とは常に連絡をとれる体制を整えており、対応

しています。



1. 町政報告会と町内会要望について
2. 台風被害については、恐れ入りませんが町のホームページ等をご覧ください。

会期（平成30年9月6日～19日） 13日間

9月 議会

9月定例会に町長から、決算認定、財政の健全化に関する報告、条例の改正、条例の制定、補正予算、計27件の案件が提出され、決算認定については、特別委員会を設置し審査を付託、その他については、原案のとおり可決しました。

補正予算関係(一般会計)

<平成30年度 一般会計補正予算(第2号)>……今回92,655千円を追加し予算総額を60億7629万1千円としました。

(補正した主な事業内容)

◎総務費

- ・ブロック塀の耐震対策に関する補助金……………5,000千円
- ・住宅耐震改修に関する補助金……………5,830千円

◎民生費

- ・特別会計介護保険への繰出金……………12,026千円

◎農林水産業費

- ・特別会計農業集落排水事業繰出金……………10,570千円

◎教育費

- ・空調設備改修設計監理委託料……………10,000千円
(各小中学校への空調設備設置)
- ・防犯カメラ設置工事請負費……………2,905千円

条例関係

◎上富田町役場出張所設置並びにその名称、位置及び所管区に関する条例の一部を改正する条例

(岩田公民館建替え工事の期間中、岩田出張所を消防団第3分団屯所に移転するため本条例を改正)

◎上富田町公告式条例の一部を改正する条例

(岩田公民館建替え工事の期間中、告示用掲示板を消防団第3分団屯所前に移転するため、本条例を改正)

◎上富田町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

(子ども医療費の支給対象範囲において、通院に係る医療費の支給対象期間の拡大を行うため、本条例を改正)

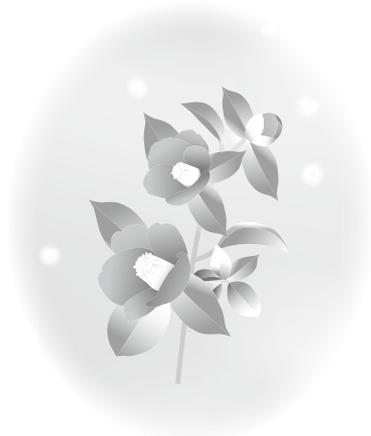
地方公共団体の財政の健全化に関する法律による 平成29年度決算における健全化判断比率

(単位：%)

健全化判断比率	平成29年度	早期健全化基準	備考
①実質赤字比率	—	15.0	
②連結実質赤字比率	—	20.0	
③実質公債費比率	13.1	25.0	
④将来負担比率	90.0	350.0	

- ①実質赤字比率・・・一般会計等の実質赤字の比率
- ②連結実質赤字比率・・・全ての会計の実質赤字の比率
- ③実質公債費比率・・・公債費及び公債費に準じた経費の比重を示す比率
- ④将来負担比率・・・地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率

※健全化判断比率の4つの指標値のうち1つでも早期健全化基準以上になると早期健全化団体となります。早期健全団体となると、財政健全化計画を策定し議会議決を受けることが義務付けられるとともに、計画策定年度のみ公認会計士・弁護士等による個別外部監査が強制適用となります。また、財政健全化計画の実施状況を毎年度議会に報告し公表するとともに、早期健全化が著しく困難と認められるときは、総務大臣または知事が勧告を行うこととなります。



平成29年度一般会計・特別会計 決算審査特別委員会を設置

平成29年度の決算認定について、9月定例会の冒頭に13会計が上程されました。

十河会計管理者より概要説明があり、山本 明生監査委員から監査報告を受け、議長、町監査委員を除く委員10名で構成する決算審査特別委員会を設置し、次の12月定例会までに13会計の審査を行うことになりました。



決算審査風景

委員長	木 本 眞 次
副委員長	櫻 木 正 行
委員	九 鬼 裕見子
	松 井 孝 恵
	田 上 明 人
	吉 本 和 広
	中 井 照 恵
	家根谷 美智子
	正 垣 耕 平
	山 本 哲 也
議長	大 石 哲 雄
監査委員	山 本 明 生

審 議 日 程

9月14日	(水)	審査日程について・審査方法について
10月5日	(金)	議会事務局
		総務政策課(財政・情報グループ)
		総務政策課(まちづくり・行政グループ)
		税務課
10月9日	(火)	教育委員会
		住民生活課
10月10日	(水)	産業建設課
		上下水道課
10月11日	(木)	未収金関係
10月15日	(月)	予備日
10月22日	(月)	指摘事項審議
11月2日	(金)	総括



決算審査風景

平成29年度上富田町会計歳入歳出決算総括表

(単位:円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	内翌年度繰越財源額	実質収支額	備考
一般会計	6,944,098,772	6,854,618,325	89,480,447	0	89,480,447	翌年度へ繰越
国民健康保険事業	2,178,384,470	2,117,469,412	60,915,058	0	60,915,058	翌年度へ繰越
宅地造成事業	252,320,635	465,416,257	△ 213,095,622	0	△ 213,095,622	翌年度繰上充用
宅地取得資金貸付事業	2,885,620	2,912,808	△ 27,188	0	△ 27,188	翌年度繰上充用
住宅新築資金貸付事業	12,927,766	36,594,653	△ 23,666,887	0	△ 23,666,887	翌年度繰上充用
奨学事業	18,352,131	18,352,131	0	0	0	
農業集落排水事業	218,540,823	218,540,823	0	0	0	
公共下水道事業	327,409,324	326,470,851	938,473	0	938,473	翌年度へ繰越
介護保険	1,520,893,596	1,485,467,853	35,425,743	0	35,425,743	翌年度へ繰越
後期高齢者医療	285,695,539	283,504,685	2,190,854	0	2,190,854	翌年度へ繰越
診療所事業	31,972,800	31,972,800	0	0	0	
朝来財産区	19,467,535	17,792,762	1,674,773	0	1,674,773	翌年度へ繰越
合計	11,812,949,011	11,859,113,360	△ 46,164,349	0	△ 46,164,349	

水道事業	収益的	538,130,860	364,415,700	173,715,160	0	173,715,160	当年度純利益(170,478,855円)
	資本的	33,267,930	260,258,550	△ 226,990,620	0	△ 226,990,620	減債積立金(163,608,053円) 消費税及び地方消費税 資本的収支調整額(3,107,235円) 損益勘定留保資金 (60,275,332円)で補填

田辺市及び周辺町議会議員 研修会が開催されました。

日時 平成30年11月16日(金)
場所 白浜町ホテルシーモア
主催 田辺市及び
 周辺町議会正副議長会



平成30年度の田辺市及び周辺町議会の全議員を対象にした研修会が開催されました。

出席議員数	田辺市	24名	みなべ町	17名	白浜町	16名
	すさみ町	11名	上富田町	15名		

この研修会は、田辺周辺広域圏のふるさとづくりの進展に役立てるとともに、議員相互の理解と連帯感を深めることを目的として、構成する各市町が毎年持ち回りにより開催しており、今回は白浜町で行われ、当議会からも各議員と奥田町長が参加しました。



今年の研修は、「地方創生時代における議会の政策法務のあり方について」と題して関東学院大学法学部教授の出石 稔 氏を迎えての講演があり、時宜にかなった話に参加者全員熱心に聴講しました。

編集後記

議会だよりをお届けします。今回は9月定例会で審議した一般会計補正予算等の主な内容と、8議員の一般質問の内容を掲載しています。ご覧ください。

今回、一般質問8議員が登壇し、様々なテーマについて活発な議論がおこなわれました。

内容は、インターネット録画放映でもご覧いただけます。

議会に対する意見等もございましたら、どうぞお寄せください。



議会中継

ネットで見よう



町議会では、現在インターネットによる本議会の模様など動画を配信しています。

・配信内容は、本議会インターネット中継 配信方法は「録画中継」録画中継では、最新4年間の映像がご覧いただけます。また、他の内容もご覧になります。(例) 会議録、議会日程等
 ・議会ホームページにアクセスし、「インターネット録画中継」をクリックし、「平成30年」をクリックするとご覧になります。



QRコードで簡単入力！
 バーコードリーダーで見ると、
 議会ホームページにアクセスできます